

1. 総括的な報告

コンサルティングエンジニア連盟（以下、連盟という）は、平成 13 年の創立以来、「国の持続的発展にとって社会資本整備は不可欠である」との認識のもと、社会資本の整備推進と改善、これを担当するコンサルティングエンジニアの社会的・経済的地位の向上を目指してきたが、平成 29 年は次の方針を掲げて活動を行った。

- (1) 安全・安心な国づくりのための社会資本整備の継続的推進
- (2) 当初予算の確保と円滑な執行、様々な面でのコンサルティングエンジニアの活用
- (3) 「公共事業調達法（仮称）」制定の推進
- (4) 地域に密着したコンサルティングエンジニアの育成
- (5) コンサルティングエンジニアの著作権の保護
- (6) 適正な利益水準の確保と次世代の担い手育成のための環境整備
- (7) コンサルティングエンジニアの法的根拠の確立

我が国の公共事業は平成 9 年頃をピークに減少を続け、特に、平成 22 年に発足した民主党政権は「コンクリートから人へ」のスローガンを掲げ、公共事業費縮減傾向にさらに拍車をかけた。平成 24 年末の衆議院選挙の結果、自民党・公明党連合が政権を奪回、民主党政権の方針は大きく修正され、デフレと円高からの脱却による経済の再生、東日本大震災の復興、来るべき南海トラフの巨大地震や首都圏直下の地震に対する備え安全・安心社会を作り上げるための国土強靱化対策等の強力な推進を掲げ、平成 26 年 12 月の衆議院選挙においては、300 以上の議席を獲得、国民の信任を得ている。

他方、新しい建設生産システムの構築、公共調達の変化、建設関連事業の進め方の変化、建設コンサルタントの役割と活動領域の拡大など、我々を取り巻く環境は急速に変化してきている。その一方において、ここ数年の急激な建設市場の縮小は、競争激化に伴う低価格入札に起因する経営の弱体化、労働環境の悪化による人材の流失と技術力の低下、将来に展望が開けないことによる担い手不足など、様々な課題を我々に突き付けている。

このような課題を根本的に解決するためには、連盟の活動方針の一つである「公共事業調達法（仮称）」の制定を推進し、我々の経営を左右する公共調達の仕組みを改革する必要がある。この点に関しては、連盟が支援してきた脇雅史、佐藤信秋の両参議院議員が中心になって取り組まれ、平成 26 年 6 月に公布されたいわゆる改正品確法では、公共工事の品質確保のための担い手の中長期的な確保を基本理念として掲げ、そのために関係する企業が適正な利潤を確保できるようにすることが発注者の責務として明記された。また、「調査、設計業務における技術的能力の審査など」（第 22 条）の条項が追加され、我々が求めてきた調査・設計を含む公共調達法の性質を色濃くしたものとなっている。また、この改正では、調達における技術力による選定の拡大、多様な入札契約制度の導入・活用などがうたわれ、地方自治体も巻き込み公共事業調達を適正化していく方向性

が示されている。

公共事業関係の予算については平成9年をピークに減少を続けてきたが、平成25年度にはほぼ底を打った感がある。平成25年には、長年にわたって減少し続けてきた設計業務委託等技術者単価もわずかではあるが増加に転じ、平成26、27年、28年そして29年にも継続して単価のアップがはかられた。平成29年には設計業務において平均2.2%の単価アップがはかられた（前年のアップ率は3.9%）。これも連盟の支援する佐藤・足立両先生のご努力があつて実現したものである。

このように平成29年は、28年に引き続き連盟の要望が少しずつではあるが、実を結び始めていることを実感した年であった。

ここに至ったのは、会員各位のご理解ご支援のお蔭であり、様々な場面で精力的にご支援いただいた皆様方に対し、心より御礼申し上げます。

昨年においても九州北部豪雨や度重なる台風の上陸など、引き続き多くの自然災害が発生している。我が国国土の脆弱性、インフラ整備の必要性が改めて認識され、連盟の方針の最初に掲げた「安全・安心な国づくりのための社会資本整備の継続的推進」をさらに強化していく必要があると感じている次第である。

連盟は今後とも上記を含め様々な課題について立法・行政府に働きかけていく所存である。皆様方におかれては、なお一層のご理解ご支援をお願いしたい。

2. 個別の活動実績

平成29年の具体的な活動は次のとおりである。

(1) 総会・常任理事会

※第16期通常総会

日時：平成29年2月14日（火）10：30～11：00

場所：グランドアーク半蔵門 華の間

主な議題：活動報告並びに平成28年収支報告、平成29年活動方針並びに予算の承認
役員（常任幹事および監査役）の選出

※平成29年 第1回常任幹事会

日時：平成29年2月14日（火）13：00～15：00

場所：グランドアーク半蔵門 5F シンフォニーの間

主な議題：会長・幹事長・会計責任者・会計担当者等幹部の選出
連盟の現状と過去の変遷、平成29年の活動方針検討等（会員増強目標を1400名、2000口に決定）

※平成29年 第2回常任幹事会

日時：平成29年9月19日（火）13：30～16：30

場所：グランドアーク半蔵門 5F シンフォニーの間

主な議題：会員加入状況、支部アンケート結果、足立候補得票結果、各支部活動報告と今後の活動方針等

(2) 講演会

※総会后講演会

日時：平成 29 年 2 月 14 日（火） 11：00～12：00

場所：グランドアーク半蔵門 華の間

講師：佐藤信秋参議院議員

演題：時局講演会

講演趣旨：国土強靱化と公共事業の質、政府投資と国民経済の関係、現在の公共事業の量的な不足、技術者単価アップと課題等

(3) 意見交換会

※平成 29 年 第 1 回意見交換会（コンサルティングエンジニア連盟総会后）

日時：平成 29 年 2 月 14 日（火） 12：00～12：50

場所：グランドアーク半蔵門

メンバー：

佐藤信秋参議院議員、

建設コンサルタンツ協会本部役員、連盟役員

内容 建設投資の状況、調達システム等

※平成 29 年 第 2 回意見交換会

日時：平成 29 年 11 月 14 日（火） 11：00～13：00

場所：グランドアーク半蔵門

メンバー：佐藤信秋参議院議員

足立敏之参議院議員

建設コンサルタンツ協会本部役員、連盟役員

内容 連盟の現状、連盟会長から両議員への「お願い書」を提出。H29 協会「要望と提案」説明、佐藤、足立両議員からの国政報告等

(4) 連盟幹部会の開催

※第 1 回幹部会 日時：平成 29 年 3 月 15 日（水） 16：00～17：30

・幹部会の主旨、H29 活動方針進捗、年間活動予定確認、支部総会連盟アピール

※第 2 回幹部会 日時：平成 29 年 6 月 21 日（水） 15：00～17：00

・H29 活動方針進捗、常任幹事アンケート結果、足立議員選挙結果

※第 3 回幹部会 日時：平成 29 年 8 月 31 日（木） 15：30～17：00

・意見交換会時の連盟要望書提出、連盟入会の必要性和効果、監査役の交代

※第 4 回幹部会 日時：平成 29 年 11 月 1 日（水） 15：30～17：30

・H29 活動方針進捗、第二回意見交換会、今後の取組み、年末・年始支部アピール

※第5回幹部会 日時：平成30年1月23日（火）15：00～18：00

・2/20 連盟総会、H29年間活動結果、H30年間活動予定

(5) 対外活動等

- ・平成29年4月～支部総会などでの足立候補応援の要請（連盟会員加入と合わせて）
- ・同年5月 東京都議選関係者名簿を佐藤事務所に提出
- ・同年5月 佐藤議員の国土セミナーに出席（連盟幹部）
- ・同年5月 コンサルタツツ協会定時総会にて大島会長連盟アピール
- ・同年8月 足立議員の励ます会に出席（連盟幹部）
- ・同年11月 連盟の目的実現のため佐藤信秋参議院議員に250万円、足立敏之参議院議員に250万円の支援を実行

(6) 会員募集活動

（一社）建設コンサルタツツ協会本部・支部が開催した総会、講演会などの機会を通し、連盟の活動状況等を報告するとともに会員募集案内等を行った。その結果、平成29年12月末時点での会員数は次表のとおりである。本年の目標であった1400人を達成することは出来なかったが、役員および幹事の方々の精力的な活動と、皆様方のご理解によって前年に比べ39名増、過去最高の1365名の会員を確保することができた。会員の皆様方に改めて感謝申し上げる。

支部別会員数

（単位：人）

支部	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	合計
H29	82	136	464	59	122	153	117	100	132	1365
H28	77	133	474	60	92	139	120	95	136	1326
H27	70	115	379	59	86	100	106	85	109	1109
H26	78	106	402	58	77	109	104	56	117	1107
H25	65	90	358	60	82	93	85	54	116	1003
H24	72	88	388	68	83	112	90	48	118	1067
H23	60	83	339	45	76	106	88	32	92	921
H22	58	85	351	37	75	99	93	30	102	930